

協会主催イベント「Slert's Day」は地域連携分科会の企画で、全国各地でリアル&WEB開催しています。2023年度、分科会では全国を10地域ブロックに分け、各地域の連携状況の調査などを実施しています。これに合わせ、本年度はすべての地域でSlert's Dayを開催いたします。開催する地域の会員企業を中心に、行政をはじめとする関連機関、取り巻く周辺企業など

との連携を促進し、新たな会員となつていただくSlert企業との出会いの場としても大きな期待のできるイベントです。

さらに、開催地域の会員企業に主担当としてイベントのとりまとめをお願いすることで、地域の会員同士の親睦が深まり、連携が強まる効果があります。

このイベントは、Slert協会久保田会長（三明機工）、

地域連携分科会鶴野主査（ヒロテック）も大変重要と考え、可能な限り現地へ足を運んで地域会員の皆様との交流を持つように心がけています。

毎回、地域の特性に合わせたセミナーや講演、地域Slert企業紹介などを実施していますので、是非お気軽にご参加、ご来場ください。

Slert's Day in 関西（大阪）@未来モノづくり国際 EXPO

2023年5月12日(金) 13:30～15:30
インテックス大阪(大阪市)

■ 未来モノづくり国際EXPOでの開催

2023年度のスタートは大阪開催です。大阪万博を見据え開催した展示会「未来モノづくり国際EXPO 2023」のセミナーとして、主催者ステージで開催しました。通常のSlert's Dayとは違い、短時間の展示会



★ 大阪会場満員の聴講者

セミナーではありましたが、150名を超える方のご来場があり大変盛況な結果となりました。

■ セミナー「ロボットSlert経営者座談会」

プログラムは2部形式で、2種類のテーマのパネルディスカッションを行いました。

第1部は「AIや画像処理、シミュレーターなどロボットSI最新技術」座長は(株)HCI奥山氏(SIert協会副会長)、パネラーは、アイズロボ(株)久保氏、東洋理機工業(株)細見氏、(株)ブリッジソリューション坂本氏の皆さんで、AIや協働ロボットの活用、AGV、遠隔操作などSIの最新技術に関して討論しました。

第2部は「中小企業へのロボット導入を成功させるためのポイント」座長は高丸工業(株)高丸氏(SIert



★ パネラーメンバー

協会幹事)、パネラーは、(株)エアグラウンド畠中氏、(株)立花エレテック高氏、千代田興業(株)瀬田川氏で、中小企業へのロボット導入の課題とその解決手段(人材育成や費用対効果等)について討論しました。

Slert's Day in 北陸（富山）

2023年6月16日(金) 13:00～16:55

(株)不二越ものづくりセンター-Kohki Hall(富山市) & WEB

■ ロボットメーカー(株)不二越で開催

本年度の北陸地域は、ロボットメーカー(株)不二越様のご協力を頂き開催しました。イベントに先立ち、希望者を募って不二越の工場、FA展示場、ショールームや不二越歴史館の見学会も実施し、最新FA・ロボットのデモ機器展示から初期の実機や企業名の由来となった戦艦那智に関する資料など、貴重な展示品を見学させていただきました。

イベントは、不二越ものづくりセンター-Kohki Hallにて65名程の来場者、およびWEB参加35名にて開催いたしました。

■ ロボット導入のきっかけをつかむ

上記を主テーマとしてプログラムは、久保田会長(三明機工)開会挨拶からスタート。特別講演は、富山高専 坂本准教授「高専におけるロボット教育の現状」、



★ Kohki Hallでのイベント

(株)不二越 執行役員 国崎氏「ユーザとSlertにやさしいロボット」をお話しいただきました。続いてはSlert協会事務局として今回の主担当アジャイル.COM 砂代表より「ロボット導入のポイント」。

Slert企業紹介は、(株)アイエスエンジニアリング、(株)アジャイル.COM、金沢機工(株)、(株)シマノ、高松機械工業(株)、津田駒工業(株)、(株)鳥羽、

正田産業(株)、丸文通商(株)、(株)ワコーテックの10社にご登壇いただきました。引き続き(公財)富山県新世紀産業機構 土肥参与「TONIOにおけるロボット分野への支援について」と、中部経済産業局より「ロボット産業の動向と関連施策ご紹介」をお話しいただきました。閉会挨拶は地域連携分科会松見副主査(太平電気)でイベントは終了。

不二越様をはじめ、多くの北陸の企業にご協力いただき、終了後の交流会も含め、大変充実したイベントとなりました。



★ 不二越国崎氏がロボット実演で講演

Slert's Day in 東北（秋田）

2023年7月7日(金) 13:30～16:50

ANAクラウンプラザホテル 5階カペラ(秋田市) & WEB

■ 初の秋田開催では分科会を併催

東北地域として秋田では初めての開催となりました。午前中には地域連携分科会も開催し、全体ではリアル出席50名程と、WEB参加が20名程でした。今回は地元秋田県の会員企業(株)クツザワ様が主担当として企画、運営にご協力くださり、会場に協働ロボットのデモ機を展示、見学させていただきました。



★ 秋田会場の様子

■ ロボット導入検討企業向けプログラム

プログラムは、久保田会長(三明機工)の開会挨拶によりスタートし、特別講演では秋田大学 巖見教授による「健康寿命を支えるロボティクス」をお話し頂きました。続く講演は、Slert協会参与の小平氏による「日本のロボット産業とシステムインテグレーション」です。続いて協会事務局「Slert協会の紹介」。その後、東北経済産業局より「東北経済産業局 施策紹介」にて、ロボット関連施策のご説明をいただきました。

後半の地域Slert企業の講演は、主担当(株)クツザワ「当社がSlert事業を始めるに至った経緯」、THK(株)「段取り替え不要のロボットハンドでFA・物流現場の自動化をサポート PRS/TNH 編」、(株)五洋電子「ロボット導入による生産効率向上」、由利工業(株)

「自動化の取組みについて」、(株)ケーエンジニアリング「現場で簡単に振動分析できるFFTアナライザのご紹介」以上5社にお話しいただきました。最後は、地域連携分科会鶴野主査(ヒロテック)の開会挨拶と続き、その後、名刺交換の時間を経て交流会へと移行しました。



★ 会場内のロボット展示

Sler協会では地域連携分科会が中心となり、全国を10地域に分割し、各地の連携状況の調査や、ネットワーク構築を推進しておりますが、この全国10地域で「Sler's Day」をリアル&WEB開催しております。開催地域の会員企業を中心に、行政や関連機関、周辺企業との連携を促進させ、ロボット導入を検討している企業への情報提供、企業間交流の促進などを大きな目的としております。毎回、地域の特色に合わせた企画、内容のセミナーや勉強会などを実施しています。

また、開催地域の会員企業に主担当(取りまとめ役)になっていただく事で、様々な方のご参加、新しい企画が実現しております。また、地域企業同士の親睦を深め、新たに会員となっただけの企業との出会いの場にもなっています。

Sler協会久保田会長、地域連携分科会鶴野主査とともに、各地の皆様と直接お話ができる大切な機会である、できるだけ現地に足を運ぶようにしております。お近くの地域で開催の折には、ぜひお気軽にご参加ください。会員以外の方もご参加可能なイベントです。

※2023年度Sler's Dayの開催予定は、2024年3月8日(金)九州(北九州)が最終です。開催報告は次回号にて。★2024年度予定の詳細はホームページをご覧ください。

Sler's Dayホームページ ▶▶▶ <https://www.jarsia.jp/siersday/>



Sler's Day in 関東 (茨城)

2023年8月25日(金)13:30~17:00
つくば国際会議場1階1-3会議室(つくば市)

■ 初の茨城開催

関東地域では初となる茨城県つくば市での開催となりました。つくば市は科学万博開催など日本の最先端科学を牽引し、またロボット特区にも指定されており、国を挙げてロボット業界の未来を牽引している地域でもあります。この地域の会員企業(株)FAプロダクツ様、筑波エンジニアリング(株)様にご担当頂き開催しました。当日はリアル会場に50名と、WEBで15名程が参加いたしました。

■ ロボット導入のヒント、企業支援

Sler久保田会長の開会挨拶から始まり、ご講演は、

産業技術総合研究所 谷川氏「労働人口減少に伴う人・ロボット協働システムへの展開」、続いて茨城県産業技術イノベーションセンター技術支援部長 若生氏「茨城県における自動化・省人化支援の取り組み」、(株)三友製作所 北野氏による取り組み事例「Oリング面磨き装置の開発」をお話いただきました。その後、関東経済産業局地域経済部デジタル経済課 田中氏より施策紹介についてお話しいただき、続いて(株)ひたちなかテクノセンター企業支援部長 高野氏に地域の企業支援についてご紹介いただきました。

Sler企業紹介は、関東地域より(株)ウエノテクニカ、



★茨城会場講演の様子

(株)FAプロダクツ、ジック(株)、高丸工業(株)、筑波エンジニアリング(株)の5社にお話しいただき、最後は地域連携分科会鶴野主査にて挨拶、閉会となりました。

Fujinokuni Digital's Day (Sler's Day in 静岡)

2023年9月8日(金)10:00~16:45

静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」(静岡市)

■ Fujinokuni Digital's Dayとの共催

相模・駿河地域でのSler's Dayは、初の静岡開催です。静岡県では、労働力減少や急速なデジタル化への対応のためIoT・ロボットなどのデジタル技術普及推進のためイベントを企画しており、この企画にSler's Dayを共催する形で本イベントを開催しました。午前中は「Fujinokuni Digital's Day」として、静岡県経済産業部長の挨拶でスタートし、協立電機(株) 遠藤氏の特別講演「工場の自動化のメリットや注意点」に続き、国本工業(株) 国本氏と宮川工業(株) 宮川氏より各社の事例をご紹介いただきました。午前最後のプログラムは、ふじのくにロボット技術アドバイザー 長谷川氏に「静岡県IoT導入診断アドバイザー」事業をご紹介いただきました。



★ Fujinokuni Digital's Day

■ Sler's Day in 相模・駿河(静岡)

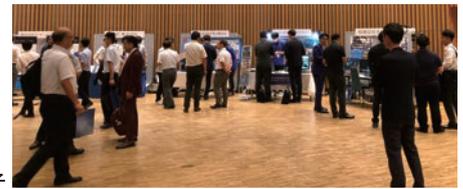
午後の部は、久保田会長挨拶から始まり、リンクウィズ(株) 吹野氏より「ロボット導入事例紹介」を講演いただきました。続いては「ロボット導入事例パネルディスカッション」として、導入企業の三光製作(株) 山岸様と、Sler企業の(株)日本設計工業 名倉氏、(株)ヤナギハラメカックス 柳原氏、そして高丸工業(株) 高丸氏が、導入企業の大建産業(株)様のピンチヒッターとして登壇、ロボット導入について白熱した意見交換が繰り広げられました。その後は、Sler協会より「導入企業向け導入講座の紹介」と、「Sler協会活動紹介」を続けて実施しました。

Sler企業紹介では、三明機工(株)、(有)チアキ機工、東レエンジニアリング(株)、(株)特電の4社にお話しいただきました。最後は、地域連携分科会鶴野主査からの挨拶にて、閉会となりました。

■ 会場ブース出展

今回は会場内にブースを設け、12企業が実機やデモンストレーション展示を行い、来場者に見学頂きました。展示企業は、SMC(株)、(株)KYOWAエンジニアングラボラトリー、codeless technology(株)、(株)ゴードーソリューション、三明機工(株)、(有)チアキ機工、(株)テクノサイト、TechShare(株)、(株)特電、ナルテック(株)、(株)日本設計工業、(株)ヤナギハラメカックスです。

長時間にわたる本イベントは盛況のうちに終了、来場者は、登壇者・関係者を含み170名にのぼり、WEB参加者は35名を超えました。



★ 静岡会場内展示の様子

Sler's Day in 北海道 (釧路)

2023年9月29日(金)13:00~16:55

釧路工業技術センター2階会議室(釧路市)

■ 初めての釧路開催

今回の北海道は、開催地釧路の会員企業(株)ニッコー様と、地域連携分科会副査である室蘭の太平電気(株)様に主担当をお願いしました。また、釧路根室圏産業技術振興センター様、北海道科学技術総合振興センター様にご後援いただいで開催いたしました。大自然に恵まれた北海道では一次産業をはじめ今後ロボットが



★ 釧路会場の様子

活躍しうる産業が多く、ロボット導入への関心を高めていただけたイベントとなりました。会場内には、オムロンフィールドエンジニアリング北海道(株)様により、ロボットシステムを展示いただきました。リアルでは50名、WEBでは20名程が参加いたしました。

■ 北海道ならではの取り組み紹介

久保田会長による開会挨拶に続き、特別講演①北見工業大学教授 星野氏「一次産業におけるロボット化について」、特別講演②大阪公立大学准教授 二瓶氏「自動航行船の研究開発と水産養殖における利活用」をお話いただきました。

後半は、Sler企業紹介として(株)アイエムパック、(株)HBA、シンセメック(株)、太平電気(株)、

(株)ニッコー、(株)北海砥石商会、(株)ロボットシステムズの7社にお話しいただきました。続くご講演は、北海道立総合研究所機構 井川氏「道総研におけるロボット利活用の取り組み」をいただき、続いて北海道経済産業局地域経済部製造・情報産業課 石川氏より、施策についてご紹介いただきました。最後は、地域連携分科会鶴野主査による閉会挨拶にて会は終了いたしました。

■ 工場見学

本イベントに先立ち、午前中に地元担当企業の(株)ニッコー様の工場見学を企画していただきました。20名程が午前中から参加し、貴重な施設内の見学をさせていただきました。

Sler's Day in 中国（岡山）

2023年11月10日(金)13:30~17:00
岡山コンベンションセンター405会議室(岡山市)

■ 中国地域では初めての岡山

岡山は、自動車、造船、電子機器、農業機械など加工組立型産業を中心に、ものづくりが活発な地域です。ロボット導入に関心がある方にも多くご参加頂きました。リアル会場には50名、WEB20名程がご参加くださいました。

プログラムは、WEBより久保田会長の開会挨拶でスタートし、続く特別講演①は「次世代生産システムのDXを促進するAIプラットフォーム」として(株)レクサー・リサーチ 中村氏より最先端の事例をご紹介いただきました。続いての特別講演②「タスクボードによる組立ロボットシステムの評価技術～ World Robot Summit「製品組立チャレンジ」の結果を踏まえて～」

では、ロボット競技の結果を基に具体的な評価手法の解説を、近畿大学工学部ロボティクス学科准教授 柴田氏にお話しいただきました。

その後、Sier協会より「ロボット導入成功のためのポイント」、「活動紹介」を実施、続いて地域行政から中国経済産業局 地域経済部製造・情報産業課 間田氏より施策紹介いただきました。

後半は中国地域Sier企業紹介として、IKOMA ロボテック(株)、(株)北川鉄工所、三光電業(株)、(株)テルミックス、東邦工業(株)、(株)メンテックワールドの6社にお話しいただきました。最後は、地域連携分科会鶴野主査より閉会の挨拶を行い、会は終了となりました。



★ 岡山会場

■ 地域連携分科会開催

この日は午前中に、同じ会場の会議室で、地域連携分科会を開催いたしました。詳しくは、分科会報告のページをご確認ください。

Sler's Day in 中部（愛知）

2023年12月8日(金)13:30~16:15
ウイंकあいち902会議室(名古屋市中)

■ 産業用ロボットの歴史、設備設計とIE

本年度の中部地域は名古屋での開催となりました。愛知県は、「製造業の中心地」や「ものづくり王国」とも言われ、陶器や織物などの伝統産業から自動車や航空宇宙産業等幅広くものづくりが活発に行われています。今回の企画は参加者の皆様にとって盛りだくさんな内容となりました。

イベントは、久保田会長の挨拶から始まり、特別講演①は先般『産業用ロボット全史』



★ 愛知会場の講演

を出版されたSier協会参与 小平氏より、ご経験に基づく「産業用ロボットの市場と技術の発展史」を、

特別講演②は青山学院大学教授 松本氏より、「付加価値に着目したシンプルな設備設計 with IE&改善」をお話しいただきました。

■ 高校生ロボットSIリーグ運動企画

今回は、翌日から2日間開催する愛知県主催「高校生ロボットシステムインテグレーション競技会(SIリーグ)」に連動した企画を盛り込んでいます。まず、愛知県経済産業局産業部 石原氏より、愛知県事業紹介「高校生ロボットシステムインテグレーション競技会について」お話しいただきました。続けて同テーマのパネルディスカッションを実施しました。ファシリテータをSIリーグ委員長の小平氏(Sier協会参与)が務め、パネラーは、SIリーグ審査員の三明機工 久保田氏(協会会長)、SIリーグ技術委員長の豊電子工業 成瀬氏、そしてSIリーグサポート企業であるスターテクノ 瀬川氏、

バイナス 渡辺氏が登壇し、各社のこれまでの経験談などを交え、競技会の目的や今後の展開について熱く語り合い、興味深い時間となりました。最後に地域連携分科会松見副主査の挨拶で閉会となりました。リアルで55名とWEBが5名程の参加となりました。

翌日は、Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場/常滑市)にて開催の高校生ロボットSIリーグの見学会も実施いたしました。



★ 愛知ロボットSI競技会

Sler's Day in 四国（徳島）

2024年2月9日(金)13:30~17:15
阿波観光ホテル 5階クリスタルパレス(徳島市)

■ 四国の会員が持ち回りで担当

四国は、各県の会員企業が協力し合い、毎回とてもたくさんの来場者が集まるイベントになっていますが、徳島での開催は、港産業(株)様と大豊産業(株)様に主担当としてご協力いただき、リアル75名、WEB45名が参加しました。

開会では久保田会長がWEBより挨拶し前半がスタート。まず、特別講演①として、徳島大学教授 安野氏による「ロボット技術活用による福祉・農業



★ 徳島会場の来場者

分野のより進んだスマート化」、続く特別講演②は、阿南工業高等専門学校教授 長谷川氏による「協働ロボット活用人材育成の取り組み」のご講演をいただきました。その後にSier協会より「ロボット導入成功のためのポイント」を聞いていただきました。

後半には、「Sier 協会会員の協業によるロボットシステムインテグレーションの事例紹介」を、港産業(株) 丹下氏と、(株)ディースピリット 時任氏のお二人にお話しいただきました。続いて、四国経済産業局地域経済部 松坂氏より経産局の施策についてご紹介いただきました。

続いて、取組紹介①として、とくしま産業振興機構 板東氏より「ロボット導入をDXに～とくしまDX推進センターの取組みから～」と、取組紹介②では、徳島県立工業技術センター 酒井氏より「徳島県立工業技術センターの開発事例」についてお話しいただきました。

■ Sier企業による展示

四国地域のSier企業紹介は、(株)エスシーイー、大豊産業(株)、大和エンジニアリング(株)、高松帝酸(株)、(株)ディースピリット、港産業(株)の6社より頂きました。また、本イベントでは会場内に各社のブースを設けて、ロボットデモ機や、モニターによる製品や事例の紹介を行っていただきました。途中の休憩時間は30分ほど時間を取り、各展示をゆっくり見ていただきました。

最後に地域連携分科会鶴野主査より、閉会の挨拶にて終了いたしました。



★ 徳島会場港産業ロボット展示

【2024年度Sier's Dayの予定】 ※日程・会場は変更になる場合があります

- 5月24日(金) 関西(兵庫)
 - 6月14日(金) 北陸(新潟)
 - 7月 5日(金) 中部(愛知)
- @Aichi Sky Expo(展示会内イベント)

- 8月23日(金) 東北(福島) ※分科会併催
- 9月13日(金) 北海道(室蘭)
- 10月11日(金) 相模・静岡(山梨)
- 11月 8日(金) 中国(山口)

- 11月29日(金) 関東(埼玉) ※地域政策研究会
- 2月 7日(金) 四国(高知) ※分科会併催
- 3月 7日(金) 九州(熊本)

Sier's Dayホームページ ▶▶▶ <https://www.jarsia.jp/siersday/>



■ Slert's Day について

Slert協会「地域連携分科会」では地域の連携状況を調査し、業界ネットワーク構築を推進しております。この活動をより活発に進めるイベント「Slert's Day」を全国10地域でリアル＆WEB開催しています。

各地域のSlert企業、ロボット導入検討中のユーザー企業、公的機関や教育機関などとの交流を図るイベントとして開催しており、各種セミナーや勉強会、事例発表や情報発信、地域のSlert企業紹介などを実施しています。

毎回、開催地の特徴を活かした内容で、会員のみならず広く参加者を募り、大変貴重な交流の機会となっています。また、開催地域の会員企業に主担当(幹事役)をお願いすることにより、施設見学などの興味深い特別企画や、新しいネットワーク構築・拡大も期待できる大変意義深いイベントとして評価されています。

Slert協会久保田会長をはじめ、協会役員も現地に足を運び、地域の会員の皆様と直接お話ができる、この交流機会を大切にしております。セミナーの終了後は、必ず近隣にて「懇親交流会」を開催しており、セミナーではお話しできなかった講師の方とも、親しく挨拶、名刺交換もしていただけます。

セミナーイベントも、交流会も、どなたでもご参加可能です。お近くの地域で開催の折には、ぜひお気軽にご参加ください。

2024年度Slert's Day開催予定はホームページからご覧いただけます。

※参加申し込み受付中 ▶▶▶ <https://www.jarsia.jp/siersday/>



Slert's Day in 九州 (北九州)

2024年3月9日(金) 13:30~16:40 黒崎びびしんホール 中ホール(北九州市)

■ (株)安川電機「ロボット村見学会」

2023年度最終回となった九州開催は、安川電機様のご協力で開催しました。

午前中には、安川電機本社「安川電機みらい館」及び、「人とロボットの協働作業による小型産業用ロボット組立ライン」の見学会を実施し、40名強が参加しました。

みらい館では様々なデモ機のパフォーマンスやMOTOMAN初号機などを見せて頂き、工場内では、ロボットがロボットを組立てる様子を間近に見学することができ、大変貴重な機会となりました。



★ 人協働組立ライン見学風景



★ みらい館のMOTOMAN1号機

■ Slert's Day in 北九州

早朝山陽新幹線のトラブルもありましたが、午後の Slert's Day は無事開催しました。

まずは久保田会長の開会挨拶からスタートし、九州鉄道機器製造(株)大野様の事例紹介「ロボット導入をきっかけとしたものづくり100年企業の改革」、続く基調講演は(株)安川電機 村井様の「ロボットの進化とデータ活用によるものづくり改革への取り組み」と、北九州システムインテグレーターネットワークの小野様に「北九州ネットワークの取組紹介」をお話しいただきました。続いて(公財)北九州産業学術推進機構(FAIS)による取組紹介と、九州経済産業局の施策を紹介いただきました。



★ Slert's Dayの会場の様子

地域Slert企業紹介は、(株)ドーワテクノス、(有)ICS SAKABE、(株)FAサポート、KiQ Robotics(株)、(株)近藤製作所、第一施設工業(株)、そしてミシマ・オーエー・システム(株)の全7企業が実施いたしました。

地域連携分科会鶴野主査の閉会挨拶にて会は終了し、リアルで95名、WEB約25名、全体で120名程が参加いたしました。Slert's Dayでは大変多い参加者になりました。

Slert's Day in 近畿 (ひょうご五国)

2024年5月24日(金) 10:00~17:00 兵庫県民会館11Fパルテホール(神戸市)

■ ひょうご五国の初イベント

2024年度Slert's Dayのスタートは近畿地域から始まりました。

兵庫県は、摂津・播磨・但馬・丹波・淡路の五国が集まって出来た県と言われています。これまで近畿地域は大阪での開催が続いていましたが、ロボットメーカーも多く製造業が盛んな「兵庫県を盛り上げよう！」と兵庫県内の会員企業が企画いたしました。

午前は、兵庫県施策紹介を通しSlert向け勉強会・検討会を実施し、午後はSlertによる最先端技術紹介やユーザー企業の導入事例紹介など盛りだくさんのイベントになりました。

■ 午前の部/パネルディスカッション

久保田会長の開会挨拶の後に、行政・支援機関による施策等の紹介として、兵庫県、近畿経済産業局、(公財)新産業創造研究機構(NIRO)、(独法)中小企業基盤整備機構(近畿)からお話しを頂き、Slert協会「他地域のロボット導入支援」紹介を実施。

続いて今回の主担当企業の高丸工業(株)高丸正氏が「兵庫県のロボット導入の現状、大企業と中小企業へのロボット導入目的の違い」を講演しました。

その後のパネルディスカッションでは、「近畿地域の中小企業へ、ロボット導入促進のために何が必要か?」で熱の入った意見交換が実施されました。

パネラーには、兵庫県、近畿経済産業局、中小企業基盤整備機構、新産業創造研究機構、千代田興業(株)に登壇いただき、座長として高丸工業(株)がディスカッションの進行役にて実施しました。

★ 兵庫会場の様子(右)

★ パネルディスカッションの様子(左)



■ 午後の部

午後は、まずは支援機関からの情報として(公財)新産業創造研究機構(NIRO)と(独法)中小企業基盤整備機構から支援事例の紹介をいただきました。その後続く特別講演は、神戸大学大学院 元井准教授より「ロボットによる接触を伴う作業の高精度な制御・教示手法」をお話し頂きました。続いて地域企業、iPresence(株)代表のクリスフランシス氏と、高丸工業(株)高丸泰幸氏による、最新事例の紹介。地域の Slert 企業紹介は、iCOM 技研(株)、日下部機械(株)、(株)コスメック、大喜産業(株)、(株)大見機械製作所、宮脇機械プラント(株)の6社が実施しました。その後、ロボット導入事例紹介として、KP ファクトリー(株)、(株)新征テクニカル、(株)精和工業所、ゼロ精工(株)、太陽刷子(株)のユーザー企業5社よりお話を頂きました。最後は Slert 協会副会長/地域連携分科会主査鶴野氏の挨拶で閉会となりました。参加者は、リアル105名、WEB25名、計130名でした。



【 Slert's Day 今後の開催予定 】

・ Slert's Day in 北海道(室蘭) : 9月13日(金)
 ・ Slert's Day in 山梨@FANUC : 10月11日(金)
 ・ Slert's Day in 中国(山口) : 11月8日(金)

・ Slert's Day in 関東(埼玉) : 11月29日(金)
 ・ Slert's Day in 四国(高知) : 2月7日(金)
 ・ Slert's Day in 九州(熊本) : 3月7日(金)

※予定は変更になる場合があります。